

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-90)、
廃棄物管理施設(65)、MOX燃料加工施設(2-51))」

2. 日時：令和5年8月24日(木) 10時00分～10時50分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、田尻主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審
査官、上出安全審査官、武田安全審査官、山口係員、横山原子力規制専
門員

日本原燃株式会社

日本原燃株式会社 再処理事業部 新基準設計部 部長 他3名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年8月22
日の提出資料に基づき、竜巻防護の設計に係る考え方の整理について確認
を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・現在検討を進めている申請対象設備の分類及び構造設計等に係る整理の
共通的な方針を竜巻防護での整理に当てはめる際の説明すべき項目、構造
設計等を説明する上での設備分類の設定、代表して説明する分類及び設備
等の設定等の考え方を整理する。
- ・具体的には、竜巻防護に係る基本設計方針の要点ごとに、竜巻の影響を考
慮すべき各施設で共通する説明事項と個々に異なる事項を整理し、各種設
定等の考え方を明確にする。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年8月22日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	公開しましたと規制庁ヤマグチですとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。本日はヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、
0:00:14	また令和5年2月28日に申請があった、MOX燃料加工施設の設工認申請についてヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:23	まず規制庁側の出席者を紹介いたします。
0:00:27	村長会議室からコサクオカオノヨコヤママグチ、ナカアビルからハバサキカミデキシノタジリフジワラタケダ。
0:00:40	以上になります。
0:00:41	それでは日本原燃の方から出席者を紹介し、本日の議題また達成目標を説明して資料の説明を開始してください。
0:00:53	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:56	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:00	Steeringチームより、
0:01:02	イングロ、
0:01:04	タカヤ、
0:01:05	イシハラ、
0:01:06	あとSteering中のサポーターといたしまして、タナカ、
0:01:11	以上3カセ、それと事務局参加してございます。
0:01:15	本日も確認いただきます資料でございますけれども、
0:01:19	8月22日にですね、提出させていただきました、竜巻防護の設計に関わる考え方の整理に関わる修正対応方針、こちらの方のご確認となります。
0:01:31	それでは主、説明の方開始させていただきます。
0:01:37	はい。日本原燃の石黒でございます。資料につきましては2枚もので、先ほど紹介あったものの一部になります。
0:01:47	こちらはですね、8月17日に前回竜巻のヒアリングをした時の振り返りの位置付けであるという認識でございます。
0:01:56	共通中に関わる作業、こちらを実施していく上でですね、後戻りが極力少なくなるように、一定の認識合わせをしておくべき事項ということで、
0:02:08	そういう持ったものが何があって、どのように対応していくかと決めていくことが、このヒアリングの目的であるというふうにご考えております。

0:02:17	前回のヒアリングにおいては、共通 12 が仕上がった後の具体的な個別事項について、話をしようとしていたという節がちょっとこちらにございまして、
0:02:29	先ほど言いました目的がですねはっきりしていなかったために、前回のヒアリングでは、ちょっと目的自体がうまくできなかったのかなというふうに認識してございます。
0:02:40	今回目的に書かせていただいております通り、共通順位の基本となる設計、説明分類の設定とかですね、説明すべき事項の抽出について、共通 12 の全体を提示する前に、認識合わせが必要ではないかというふうに考えて、今回ですと、
0:02:59	振り返りという形で出させていただきました。
0:03:03	はい。
0:03:04	ここの説明については読み上げることはしてないんですけども、1 枚目のですね設計説明分類に関わる事項、特にその前半部分っていうのは、
0:03:16	共通注意の本体側の方のヒアリングで説明しているものと、かぶっているというそのものになってしまっているということで、
0:03:26	到達上げ側の個別費のヒアリングにおいては、この一番上の後半部分、これ何が書かれてるかって言いますと具体的には、
0:03:34	わかりました。提携説明分類の代表設備の選定というのが実際に行ってみて、多分がどの程度発生するかといったような実態も、
0:03:45	確認した上でですね、提携説明分類が概ね妥当か、それで説明しても良いものかといったところの議論ができればなというふうに考えております。
0:03:58	説明すべき事項の抽出、こちら 2 枚目に書いてますけれども、こちら本来、共通順位をしっかりと作り込めば、対象設備の説明の中に、
0:04:09	含まれてくるというふうに考えているんですけども、これまで十分な設計の深掘りというのができていなかったと、いうふうに考えておりました、今の基本設計方針とか、
0:04:24	どう、
0:04:25	添付書類ね、行ったところについては、その説明すべき事項が網羅的に抽出される格好にはなってなかったのかなというふうに思っております。
0:04:33	この点について、先ほど関説明分類の代表選設備の選定、

0:04:39	を記載していくという話を差し上げましたけれども、具体的に構造についてしっかり記載させていただいたものをですね、お示しさせていただいて、
0:04:52	その中でですね、どれとして設立経験事項が記載されるかということを確認していただくことで、抽出されていく案を進めていただくことになるのかなというふうに考えているところでございます。
0:05:07	ちょっと雑駁でありましたけれども説明としましては以上に、
0:05:12	規制庁ヤマザキイセそれでは規制庁側から確認ございましたらお願いします。
0:05:22	規制庁の田尻です。
0:05:24	ちょっと、そもそも認識から確認していきたいんですけど目的は別に良いとは思っているんですけど、
0:05:31	途中で話があったように書かれてるのが、共通 12 の本文とかの議論でやってるような話までしか書いてなくて、要は共通に作ろうとするときに悩ましい点とかの話をして、いろいろ話がほとんどないような感じですけど。
0:05:49	そういった点については原燃は特に何か悩ましいところはないという話なのか、まだ検討中という話なのか、今の状況ってどうなんでしたっけ。
0:06:00	日本原燃の首藤です。
0:06:03	我々として悩ましいと思っているところは、ここに記載と、やってたらかみ合わなかったって恐縮なんですけれども、
0:06:13	岩瀬説明せ設計説明分類を決めて走ったところで、いざ、資料 123 作り込んで振り返ってみたら、
0:06:28	すごく多くの説明を繰り返さないといけないとですね、そういった事態になりやしないかなんて言った、先のお話を気にしているところでして、
0:06:40	その辺、あらかじめ底の作り込みをした上でですね、議論することで、後戻りの量をですね、復学したいというところがありかなというふうに考えてお出しさせていただきました。
0:06:55	それ以外に個別に竜巻専門で、何かあるのかというふうに聞かれますと、
0:07:03	個別の
0:07:05	設備の課題っていうのはWアベ、1 般化の話とかですね、あるかもしれませんが、共通住民作り込みという意味では、今回お示したもののかなというふうに考えているところでございます。以上です。

0:07:22	規制庁の田尻です。今最初に説明があったようにたくさんの方に説明しなきゃいけなくなって重なるものもとかっていうのをなくすために類型の整理とかをしていきたいと思います。共通 12 の根本だと思っていて、
0:07:36	前回 8 月 17 でしたっけその時キーに行って基本設計方針で書かれているような分類とかも含めながら、こういう分類考えてますって話をされたと思うんですけど。
0:07:47	今日ここに書かれたのって共通 12 の本文に書かれている対策設備防護対象等ですっていう話であるときの説明等も今あつてなかったりするんですけど、そういった点は整理がつきそうですか前回でそういったところ。
0:08:01	の整理できそうとかか評価されていて、その縦軸とか横軸の整理できそうとかかって話もしたとは思んですけど、そういった点は、今どうされようとしてますか。
0:08:13	日本原燃の石黒でございます。
0:08:16	前回のヒアリング資料でお出しさしていただきましたマトリックスの表に関しましても、今日、
0:08:26	お話しさせていただいて、この資料に記載している、この分類に基づいて、発表しようとしておまして、それは
0:08:37	どうしようっていうか、その類で作成は可能だというふうに考えてはおり、いるところでございます。以上です。
0:08:48	を、噛み合っていない感じがあるので、おっしゃっていただけた、
0:08:56	竜巻のことだけではなくて他、設備のことも考えて共通上に本体の方で、設計説明分類の設定の仕方、それを設定した時にはちゃんと資料に資料 3 での、
0:09:13	具体の設計代表の選び方、あと代表間での差分の示し方も踏まえて、その時点で最適解だと思われる分類を設定するということだと思ってます。
0:09:28	竜巻キーの部分については、竜巻のことを考えたときに、どうあるべきかというのと、本来は共通 12 をやる前にですね、整理をしておく必要があるんじゃないかというのが、
0:09:43	前回のやりとりだったと認識をします。プラス例のよくわからんと言われたフローもですね、今日共通の資料 3 での設計としてポイントを押さえて、

0:09:55	構造設計を示すべきかというところを共通に作る前に、整理しておく必要があるんじゃないかと、というようなやりとりだったと私は認識してるんですけど、そういうところをちゃんとどういうふうに進めて、
0:10:09	いくのかってのは、本来この場で、対応方針としてお話をしないといけないところだったのかなという認識をしています。石黒さん、認識合ってます。
0:10:23	日本原燃の石黒です。
0:10:26	設計の考え方は示さないといけないっていうのは、認識しているところですよ。
0:10:33	その示し方というのは、その共通 12 の資料の 1 資料 2 の中でも説明するというふうになったのかなというふうにちょっと思っております、ちょっと今回のような整理をさせていただいたということで、
0:10:48	認識は同じという、理解しております以上です。
0:11:02	規制庁のタジリです
0:11:05	ちょっと状況がわからなくなってきたらちょっと頭もう 1 回整理したいんですけど、もともとは共通中に本体の流れがあるけれど、その事前段階として竜巻として整理しなければいけないものもありますよねと言ってやっていたと思っているんですけど。
0:11:21	今のお話は、竜巻として事前に整理するものっていうのは、今日なくて、本体の整理載っとりながら整理なんてできますよというような説明にも聞こえたんですけどそういう状況でしたっけ。
0:11:41	はい日本原燃の石黒です。
0:11:50	等ですね、すいませんちょっと、
0:11:54	今日お出した資料を、
0:11:58	ちょっと私の認識も、ちょっとその辺が少し不足していたなというふうに思いな、また思い直しております。藤。
0:12:07	設計の考え方について示しておかないと、
0:12:13	共通 12 の資料を出した後でまた見直していうところがあるという意味では、
0:12:22	後戻りになり得るものになるかなと思いますので、その考え方についても示しておかないといけないというふうに思います。すいませんそこがちょっと抜けていたと思います。以上です。
0:12:37	うん。規制庁の田尻です

0:12:40	共通 12 で整理するっていうので別におかしいとも言わないんですけど、今共通住民の基本的な考え方を本体でやっていて、それを最初のトップバッター、竜巻いざ当てはめようとした時に、
0:12:54	悩ましいって要は本当の基本ルールでしかやってきてないので、それを実際に具体化しようとしたらボックスだって最初グローブボックスやろうとしたら大変だったりいろいろしてると思うんですけど、
0:13:04	そういった点について、竜巻としてこういったところは事前に整理をした上で作らないと、資料の手戻りが発生すると思うんでこう考えてますっていうのを、対応方針として示すのかなと思っていて、
0:13:17	そうしないと、極端な話、
0:13:19	何かを、
0:13:20	今ここで書かれてた。
0:13:22	飛来物防護ネットが動いたとかが共通 12 の本体のところで書かれてるのは認識しているんですけど、ここの話って従前からあって、でもそれを踏まえた上で資料を原燃共通中という形ではないけど資料作ると、8月10
0:13:36	に作ったやつを別添でしたっけ後ろに表とかを作ってたやつになったじゃないですかで、
0:13:42	あれがそのまま、共通につくれそうかっていうと、何か、なかなかできそうにないなっていう流れの中で、じゃあ何を整理しましょうかって話をしていたような気もするので、
0:13:54	なお、
0:13:56	おっきな目標は変わってないと思ってるんですけど、そこに対して共通中に共通部分だけが整理できれば、次、すぐ来そうですねっていうところの認識がちょっとずれているような気がします。
0:14:13	はい。日本原燃の石黒です。
0:14:16	すいません、前回に確かにお出しさしていただいたところとしましては、少し悩ましいというところですね、
0:14:29	そこは一井、どうしてもその他条文の要求もあって、完全に覆いつくせない場合の対応の仕方をどうするかと、
0:14:39	いったところ等を出し渡しさしていただいてたんですけども、
0:14:44	ちょっと私の方が先走って勘違いしてしまったのは、その辺の話は、共通 12 の作り込みをした上で議論をする。

0:14:54	要は、整理を、になったのかなというふうになっちゃったので、まずは共通 12 を作り込むというところにちょっとシフトしてしまったというところではありました。
0:15:07	江藤社長の田尻です。具体の設計部分は別に大きな方向性さえ見れば後でやれば良いと思ってるんですけど、今おっしゃった共通 12 を作り込めば良いと思ってるという共通牛乳の作り込みが、
0:15:21	今ある材料だけで、減免できそうですかって言うのが、ほんで、要は共通中に整理しましたって言って、分類と科目を作りましたって言って、
0:15:31	これで本当に類型説明できてますかって後でなるぐらいだった。
0:15:34	先に、こういう考え方ですっていうやりとりをしておけば、その整理された方針に則って作業ができるんじゃないかっていうのが、考えだと思ってたんですけど。
0:15:44	今のお話だと共通中に今作り込んでいって、特に問題なく作業ができてると思えばいいんですけど。
0:15:54	日本原燃の牛尾です。東郷。
0:15:59	作りこむことだけでいうと、ほぼ、
0:16:02	言っているものはできるんでしょうけれども、
0:16:06	規制庁さんとのやりとりの中で、やはりちょっと足りてないんじゃないかっていうことになる可能性もありえるかなと思っているので、その点に関してはあらかじめ、我々の考えを示させていただいた上で、
0:16:20	事前に話しておくべきことなんじゃないかなというふうには思いますので、そういったものが何かといったものを
0:16:28	オダさせていただくものだというふうに、ちょっと思っております。
0:16:33	なので、今回ちょっとこれを示させていただいたものっていうのは、共通 12 という枠組みに、どうはめていくかっていったような話であって個別の
0:16:43	技術的なところっていうのが、あまりここを度ないような形にしていたので、その点についてちょっと考え直させていただいて速やかにちょっとまた
0:16:53	どういったものがあるかというのをお示しさせていただきたいなというふうに考えております。以上です。
0:17:02	規制庁の谷井ですけど途中途中でも話出てますけど、無駄な手戻りとか発生しないように効率的にっていうところもあって、方針の部分で相談した方がヒアリングした方がいいものがあるという話だと思っているので、

0:17:18	多分、副担当の方つくれようとしたら困ると思うんですよ累計しましたって言っても、いざ構造示せるとした時にそれに従って本当にできるのかってところがいろいろ出てくると思っていて、
0:17:30	そこについてどういう考え方ですよっていうのを、だけでもやっていければいいのかなと思うので、よろしく願いいたします。とりあえず、自分から起きたところ以上です。
0:17:43	日本原燃の石黒です。すいませんそういう意味ではですね
0:17:50	今回、オダきささせていただくものっていうところで、この1枚目の後半部分の、その矢印の矢印が、下の方にあるかと思うんですけども、
0:18:03	設計方針を縦軸、設備を横軸に展開して、行動されていくっていう作業、こちらも
0:18:10	前回お出したマトリックスを、さらにちょっと修正したものをになるかと思うんですけども、そこでどのような分類になる。
0:18:20	してですね類型化ができるかどうかっていったところ、
0:18:23	そこからですね我々の考えを説明する形でですね、お出しすることで、今の我々の考え方ってのは示してるのではないかなというふうに思っておりますので、
0:18:35	できればちょっとそれ一、今回一部それを作るつもりでは行ってですねお話をさせていただいたんですけども、藤。
0:18:43	ここはちょっと継続的に、ちょっとこちらで検討したものを出させていただきたいかなというふうに考えております。以上です。
0:18:52	規制庁の鍛冶ですけど、どういった形でフォーマット生かすかっていうところは共通12本分でもやってきていて、そこに竜巻を当てはめようとしたときに、
0:19:02	どう分類しましょうかっていうところが竜巻として整理しておきたいところがあるので、何か前回のフォーマットを、
0:19:14	書き下しましたってやつが、本当のフォーマットの話でしかなくて、これ別に共通12で、こう作ってきましょうってやってきてるような気もするので、これやって、実はここが共通でやっても悩ましい出ちゃうんだ。
0:19:25	それをやればいいんですけど、何を整理しなければいけないのかっていうところだけ、認識した上で対応できればと思うのでよろしく願いします。
0:19:36	日本原燃首藤です。そうしました。
0:19:41	はい。規制庁コサクですけど、ごめんなさい。結局何なのかが、
0:19:45	わからなくて、

0:19:47	タジリが何を求め、
0:19:50	石黒さんが何を了解したのかが私には理解できなかったんですけど。
0:19:58	前回のヒアリングで話をしている、
0:20:04	ちゃんと話ができなかった、議論ができていないということであると、
0:20:11	8月10日の提出資料で添付2ってなってるのがマトリックス。
0:20:18	だと思んですけど、これが47ページにもわたっていて、全体の関係性がよくわからないというようなこと。
0:20:31	なので具体的にこういうそれぞれの設計説明分類、
0:20:40	にしようとしているものが、その分類でいいのか、それぞれのものが、方針としてこういうものっていいのか説明すべき事項ってのがこれでいいのかと。
0:20:51	ということが認識共有できてないってということだと思っています。
0:20:57	石黒さんからは、これを
0:21:02	もう少し集約させて、そういった認識共有ができるようなものを作って、提示しますと言われたんだと理解をしましたけどそれでいいですか。
0:21:14	日本原燃の石黒です。全くその通りでございます。
0:21:19	はい、古作です。で、先ほど田尻が共通にやっていけばってというような話をしたのは、
0:21:28	表のこの時、10日の資料の添付2は、縦軸はその基本設計方針、
0:21:36	から出てくる、いわゆる資料2で整理をしているもの。
0:21:41	す。
0:21:42	資料に妥当、一式ついていて、右側に分、これはどの分類のものであるという割り振りがされると。
0:21:51	ということになってますけどこれはその割り振りから、その分類に抜き出してまとめたという形になってて、資料3の、
0:22:06	①、
0:22:10	構造設計の①か。
0:22:13	丸井ですね資料になる。
0:22:16	部分。
0:22:17	にもなフォーマフォーマットというか内容としてはそういうレベルのものにしていると。
0:22:24	ということだと思いますけど、
0:22:29	違いがあるのワ一横軸に小分類が、
0:22:35	あって、その小分類の意味合いがわからないと、というようなこと。

0:22:39	だったんだろうなと思ってます。
0:22:49	評価の資料の時には、しゃにむに少しでも違いがあれば分けますって いうふうになってたんだと思うんですけど、それだと類型としてどうする かっていう意識が、
0:22:58	共有できないので、それは主、一つのグループでとグループじゃない よ、分類。
0:23:05	説明すべき事項として違いがないというものはまとめていただいて、
0:23:12	分類としてはまとめるんだけど説明すべき事項としては幾つか違いがあ りますよと。
0:23:19	いうことも或いは設計上の配慮ですかね、に違いがあるということであ れば、
0:23:25	分けて書いて、この部分が違いますと。
0:23:28	ということで整理をされるのかなと思いますけど、認識は合ってます。
0:23:36	日本原燃の石黒です。これも全く同じで、横横に、かなり見やすくするこ とをちょっと意識して分けて、書いていたものを、
0:23:48	聞こえても違いがあれば、行をふやして、出た物をふやしていくという ことをしていたものを、説明するのはどの単位かっていうことを意識して
0:23:59	まとめるものをまとめていくという形にしようとしておりました。以上で す。
0:24:04	はい。規制庁コサクです。その上で、
0:24:11	縦軸の方が一、本当にこの分類のものなのかっていうのが、疑義がちょ っと小私としてはあつてですね。
0:24:20	そこを精査して改めて出していただきたいと思ってるんですけど。
0:24:25	それで雄踏資料2を作業しながら、この表を作っていますかっていうと ころがちょっと心配なんですけどどんな作業でこの表を作られました。
0:24:40	日本原燃の石黒です。ちょっと実態だけを申し上げますと、資料2は
0:24:49	順次作ってはいるんですけども、今ここを出している、でかいもお出し したそのマトリックスとの照合作業っていうのは、まさにこれからしよう としていたところでして、
0:25:00	そこがまだちょっと十分リンクがとれてない形が今なってしまってるとい うのが実態です。
0:25:05	以上です。
0:25:08	はい。
0:25:08	コサクです資料2を書こうとする等、設計説明分類の割り当てだけじゃ なくて、どれを代表にするとか、

0:25:19	その理由はとかっていうのも書き込んでいかなきゃいけないので、いきなりそこまでやるのは大変でしょうと。
0:25:26	ということで、先ほど言ったように、その分類の割り当ても間違ってるんじゃないかっていうようなレベルにおいてそこまでやっても無駄作業が発生するでしょうというふうに思ってます。
0:25:38	なのでまずは分類程度ということで、資料2の形ではないですけど、それが議論できるこういうその10日のフォーマットのような形で、
0:25:50	議論ができればということと認識をしています。なので元作業としてはやっぱり資料2のものがあって、これはどの分類だよねっていう話をしながら、
0:26:02	それを集約してこちらの10日の添付2のバージョンに、
0:26:07	していくと。
0:26:08	いうことが必要かと思しますのでその点で精査をしていただいて、トライをいただければと思います。
0:26:18	日本原燃の石黒です。承知しました。ありがとうございます。
0:26:23	はい。規制庁コサクです。例えば例示で言いますと、藤狩野添付2の1ページ目。
0:26:32	については、一番下に35行って書いてある、サンゴ行っていいのかな。
0:26:41	代行んだ。
0:26:47	項目番号ですね、基本設計方針の項目番号で35って言われてるものがあって、
0:26:54	これは
0:26:59	主語、文章の主語見ると、屋外の竜巻防護対象施設はってなってるので、
0:27:06	屋外施設の設計方針なんですけど、
0:27:11	これについて、
0:27:13	ここの表は何を書いているところかっていうと、
0:27:17	建屋内の対象施設と、建屋についての、
0:27:23	分類なんですね。
0:27:25	なので、何か違うもの持ってきてませんかみたいな感じなんですよ。
0:27:29	そのあたりは何か、わざとやってるんですかね。
0:27:40	これに対して設備の方見ると建屋はってなってる、
0:27:45	どう対応してんですか設計方針等っていうのはわからないんですけどから、

0:27:50	日本原燃の石黒です。確かにおっしゃる通り、このジャンルAポツの範囲っていうと、建屋とわかります。
0:28:00	うん。守られてしまいますので、
0:28:03	屋外が入ってるのは、
0:28:09	明らかに矛盾してます。
0:28:11	そこも含めてですね
0:28:14	次回お出しするときには、その言っていることと中身が矛盾していないことをしっかり精査したものをお出ししないといけないなというふうに感じております。
0:28:24	その意味ではご指摘、非常にありがたいと思っております。
0:28:28	以上です。
0:28:29	はい。補足です。よろしくお願ひします。今私申し上げたように、基本設計方針は、ちゃんと何に対する方針なのかを明示するように文書構成されているはずで、
0:28:41	こんな誤りが起きるはずがないんですよ、本来は。
0:28:45	名のDアノ。
0:28:47	方針書いた人とも話をして、認識のずれがないように設計の展開をしていただくということも前々からお話してることで、
0:28:57	よろしくお願ひします。
0:29:02	山内です。はい、了解です。
0:29:05	はい。補足です。
0:29:08	ただですね、
0:29:11	間違ふ理由も少しあるかなと思うのは、前もお話しましたが、タテやあ、
0:29:19	だろうが、防護対策設備だろうが、
0:29:23	或いは防護対象でも
0:29:26	自分で荷重に耐えるといったようなものも、基本的な設計思想、
0:29:34	としては同じなところがあつて、貫通させないとかですね。
0:29:39	というようなところは
0:29:42	設計の、
0:29:43	やり、評価の仕方なんかも含めて、同じだったりするんですよ。
0:29:48	なので関連性はあつてついでということで、関連するものをつい間違つて持つてきちゃつたついでということのような気がするんです。
0:29:55	そうすると、

0:29:57	この 10 日のように 10 日の資料のように、分類ごとに一旦表にして、代表性みたいなことを整理するのも、
0:30:07	必要だとは思いますが、
0:30:09	分類間でどういう関係があるのかっていうのも見ておいていただきたいくて、
0:30:16	この表に加えて、それをさらに集約した形で、分類を 1 列のような形にして、縦軸で今は方針びっちりそのそれぞれごとの方針で書いてるから、統合できないんですけど、
0:30:31	類似のものっていうのを一つの行にすると、例えば今の強度的なものっていうのは、一行にまとめるとかですね。
0:30:40	機能に考えるものを次の行にするとか、
0:30:46	或いは飛来物に対してはこう、風荷重に対してはこうだったり、少し同じ観点っていうのをまとめ、
0:30:55	ていくように表を作りで、その観点で、この分類ではこうしてます。この分類ではこうしてます。
0:31:03	で、こういう関係性がありますよっていう表を作っていただけないかなと思うんですけど。
0:31:10	ご理解いただきました。
0:31:14	日本原燃の石黒です。ちょっと今日の作り込みについてはちょっと関係者も議論しないといけないと思うんですけども、分類間での共通するものについては
0:31:26	見える化が必要だという、
0:31:29	越智さんをいただいたと思っております、今回のこの資料でもですね 1 枚目の一番下の丸い区会てるところについては、一応その辺も意識しないといけないことは
0:31:41	認識としてはあったので、ちょっと
0:31:44	少し問題意識は十分ございますのでその具体化についてはしっかり取り組んでいきたいと思えます。以上です。
0:31:51	弓削西田でございます。資料 3 の、それ、今コサク幸というやつやると、農協共通 12 の資料 2 がすごい作りやすくなるし、
0:32:02	代表の選ばなきゃいけない対象物にどこがグルーピングか言うかも、事前に把握できるんで、今言われたような作業をちゃんとやった方がいいですやりたいと。
0:32:15	資料で逆につくれないうし、後々全然役に立つんでやりましょう。
0:32:23	日本原燃石黒です。了解しました。ありがとうございます。

0:32:27	はい。補足です。それで
0:32:30	分類として分類間での代表性で分類内での設備の代表性ということのイメージっていうのは、話ができる
0:32:42	ある程度の認識が共有された中で資料 2 の中で代表性の記載を一つ一つ詰めていけると。
0:32:51	ということになるのかなあと思っています。
0:32:58	日本原燃の石黒でございます。1 点だけ、タナカの方からちょっと確認事項ありますので聞いていただけると幸いです。
0:33:06	日本原燃田仲でございます。すいませんけど作業をやるにあたってここ間違っちゃ駄目なんでちょっと前のため確認させていただきたいんですけども、タテ列には、設計方針の要約して、
0:33:19	要約したものを並べて横軸に分類を並べます。その交差するところにその考慮について、考慮の内容を書いていてそれで分類ごとに、
0:33:31	とりあえずそれがどういうふうに考えているっていう差分が見えるようなものを作るっていう認識でよろしかったでしょうか。
0:33:37	古作です。概ね合ってますけど。
0:33:42	縦軸の項目の並びというのを、方針の要約って言われたんですけど、ようやくだと結局それぞれ違いが出てきちゃう。
0:33:52	ような気がするので、方針の観点とかですね。
0:33:57	何、何て。
0:33:59	目的とか、何かそういう共通項になるものとしてピックアップしてください。
0:34:07	日本原燃田仲でございます。わかりました。エッセンスを抽出するような、そんなイメージではいい作業させていただきたいと思います。ありがとうございます。はい。お願いします。もうちょっと具体で言うと、
0:34:20	耐震の方で行っていた設計プロセス。
0:34:25	のイメージを持ってもらったらいいと思うんです。
0:34:28	あれは
0:34:30	建屋だろうが機器だろうがとかってというようなノダとちょっと語弊があるかもしれないですけど、基本やるパターンなり考えなきゃいけないことってのは同じであって、ただその中で、
0:34:41	やることが少しずつ違いますよと。
0:34:44	ということで項目をピックアップした上でその中での対応を詳述すると。
0:34:51	ということだと思うので、

0:34:55	前回の竜巻のフローは分類を分けるっていうフローになっちゃってるかちょっと意味が全然違っちゃってるんですけど、結局は飛来物についてこうします。
0:35:05	荷重に対してこうします。
0:35:08	機能としての確認とりますとかっていうようなことで、全般やることは、
0:35:16	建屋であつても昨日何らかーの話は、
0:35:20	あるんじゃないかと思うんですよ。全くないものはそこ喰う集合ですって言えばよくて、
0:35:28	なので縦軸はそういう視点で大枠まとめてもらったらわかりやすいかと。
0:35:34	ます。
0:35:36	あまりスズキれてなくてもですね、1回出していただければそれで議論ができると思いますので、
0:35:45	大枠、
0:35:47	まずはそうですね。
0:35:50	一覧性のある資料にさせていただいたら議論しやすいかと思います。
0:35:57	日本原燃石黒です。了解しました。
0:36:03	古作です。で、今言われたマトリックスの
0:36:08	各表の内数のところの記述を見ていけば、説明すべき事項っていうところのメッシュ感っていうのが、どういう認識なのかっていうのも、
0:36:20	話がある程度できるかなと思って、原燃の方で余りにも漠として書いてあったのであれば、我々はそれを見ながらここはこういう違いもあるんじゃないの。
0:36:31	そういうのもかけあrawすべきなんじゃないのっていうなコメントができますし、逆に細々と分けていて、違いが違って1点、るのであれば、
0:36:42	この部分はこういう概念としては一緒でしょ。その上でこういう、この違いをこういうところで表せばいいんじゃないですかっていうような話もできると思いますので、
0:36:54	そういうことを理解するんだと、いうことで、資料作成をお願いします。
0:37:02	日本原燃石黒です。よくわかりましたありがとうございます。
0:37:09	小阪です。立石さんどうぞ。
0:37:14	はい規制庁タジリです。そういった意味でいうと整理し直したもので改めてということかと思うので自分から他の全般事項とかいろんなところに書いてあるやつ。
0:37:26	とか頭の部分とこで書いてある話っていうのは共通12の本体の方でやりそうな気がすんですけど、今日この辺りも何か議論するんでしたっけ。

0:37:36	メディアでございます。前半部分は、おっしゃっていただいたように共通に本体側でやることになりますので、竜巻目線で書いてありますがやることは共通に本体側でやらせていただこうと思いますはい。
0:37:53	規制庁田尻です。なんで仮締のと書かれたりヒアリング進め方とかの話はそっちの話かと思うので、竜巻としては今調査官から言っていただいたように資料が出てくればそれで中身確認したいと思うので自分から他ないです他の方あればお願いします。
0:38:16	理事長コサクです。振り返りになっちゃうかもしれませんが、資料ってどれぐらいで作って、どうやっていきますかってそれを踏まえて共通 12の方はどういうふうに進めますかっていうのは、
0:38:30	何かイメージあります。
0:38:33	日本原燃石黒でございます。
0:38:36	今回の資料、前回の取り出したマトリックスの修正版議論できる形にする。
0:38:43	ものにつきましては、8月いっぱい今から1週間、来週木曜日までに提出するつもりでちょっと今、我々チーム内では議論しておりました。
0:38:55	ちょっとその先の共通中に最終いつ提出するかとかいった話は、そこで議論を踏まえた形にしたいなと思っておりまして、今のところちょっと具体的にいつっていうのは、若干ちょっと言いづらいというふうにはあります。
0:39:07	すいません日本へのイシダでございます。そこも今日提出で明日合わせていただき今後の進め方で今の竜巻として、共通2を整理することを念頭に、まとめていくもの、あと強調順位で本体としてやっていることの、
0:39:26	相関関係であったり、それをどう進めていくかという全体の考え方はお示しをして、
0:39:34	お話を明日ですかねさせていただけるようにします。はい。
0:39:40	はい。コサクですよろしく申し上げます。
0:39:43	原燃全体事務局的な思想で言うと、
0:39:48	次の9月4日の会合では、構造設計等の
0:39:56	グローボックスを例示してまだ入口。
0:39:59	現状紹介というだけで、10月に、
0:40:03	グローボックスを中心とした閉じ込めの第一グループと、
0:40:09	いうのを、を説明し切りたい。
0:40:13	すると次は何って言った瞬間に竜巻になると。

0:40:17	ということで、竜巻というか、竜巻を中心にした外部衝撃、
0:40:27	特に屋外というようなこと。
0:40:30	なのか、
0:40:33	これも今の、
0:40:35	グローボックスと同じように、プラス関連とか、
0:40:43	今回もその対策設備だけでやっちゃってますけど、対象施設、
0:40:48	云々というか、今回でごめんなさい、3月とかは対策設備だけでやっちゃってましたけど、対象設備だなんだというところの関係性でどこまでどう説明するかと。
0:40:58	いうことは若干ありつつもう、外部衝撃について、11月には、
0:41:05	やりたい。
0:41:07	いう。
0:41:09	ことかなあとと思うとそれに乗るようにどうプロセス組むかと。
0:41:15	いうことのような気がするんですけどそんな話してます。
0:41:21	はい。日本原燃瀬野でございますはい。おっしゃっていただいている通りでして全体の進め方として、どういう順番に何をやっていくかというところで、現状、MOXのやつでやってますけど再処理としてもやらなきゃいけないことの、
0:41:38	エンバンからしてトップバッター今、外部衝撃でやろうと。それが、自治会の審査会合で、かけていかないといけないうらうということと、
0:41:48	現状おっしゃっていただいたように、対策設備と防護対象等、切り分けて分類してますけども、資料2を作った時に果たしてこの切り分けがうまくできるのか、そんな分け方をして、本当に説明し切れるのかというところも考えながら、
0:42:05	分類額を共通に本体でやりながら、普通、資料に資料3として、具体的に外部衝撃に関する設備をどう説明していくかということ整理をしていくということを全体的に並行しながらやっていって、
0:42:21	次回のところ、竜巻関係というか外部衝撃関係ですね、がかけられるようにということで、進めていかなきゃいけないというふうな話はしてます。はい。
0:42:34	はい。古作です。少しそういったところの、
0:42:38	中長期のビジョンもですね、そろそろ話をさせていただきたいので、明日、
0:42:46	今後の進め方でどの程度いえるかわかりませんが、順次、
0:42:52	お話していただければと思います。というのも今、11月まで言いましたけど、そういったペースでいくと、12月溢水、

0:43:03	それもあやしいですけど、
0:43:06	10、12月溢水1月葛西。
0:43:11	2月、何とか3月何とかっていうと、
0:43:16	いつまでに終わるんですか。
0:43:18	まだ2-1だけですよね。で、菅Gなので、皆さんの言ってるスケジュール感というのが全然わからない。
0:43:27	ということなので、その点も
0:43:30	近々、お話しいただければと思います。
0:43:37	はい。日本インシダでございますはい。全体的にどう進めていくか今後の進め方でも、
0:43:47	今後の話を書かないとということ
0:43:50	小出しになっちゃってますけど、10月、9月、そのあと、どういうことやっていくかっていうのが、ミリということやっていきますけどおっしゃっていただいている、全体、じゃあ、いつまでかかるのかっていうところも踏まえて、
0:44:04	進め方の話かなと思ってますので、
0:44:09	明日含め、今後の進め方すいません続けてやっていく中でそういうことも示していくということかと思っております。はい。
0:44:19	はい。コサクです。なんで今言ってるかっていうと、今っていうのは、本当はツツミカタギリってあげた方がよかったんですけど、ようやくですね。ええ。
0:44:31	2-1でやるべきことってというのが、現場を含めてイメージが湧いて、
0:44:37	来るんじゃないかなと。
0:44:39	今日の竜巻の話も踏まえてそういうことかっていうのをわかっていただけんじゃないのかなと。
0:44:44	思ったので、現場ガーダー思うと、具体的にどれぐらいの作業量になるか時間がかかるかっていうのも見えてくると。
0:44:53	ということだと思いましたので、そういったところからの積み上げっていうのがようやくできるようになってきたのかなと思ってお話をしました。2-1もそうですけど2-2の方も、
0:45:04	どういうふうに進めるのかっていうのを議論を始めてきてますので、その点でも、先々見通しでっていうことがいえる環境になってきたんだと思いますのでよろしくお願いします。
0:45:17	はい。表現ニシダでございます。はい。ありがとうございます承知いたしました。

0:45:25	成長山内です。他党規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:45:34	中ヤマグチリセットスケジュール的なものと、
0:45:39	ヤマシタの進め方で説明するっていう内容は、振り返りにやったんですけど、
0:45:45	本日のヒアリングで出た確認事項に対する中身的な対応としての振り返り。
0:45:53	やれ言います。
0:45:56	か。
0:45:58	アノ。
0:45:59	振り返り原燃側はすぐできそうですか。
0:46:07	日本原燃の石黒です。振り返りといいますか、本日の作業内容はそれなりにクリアになってると思ひまして、
0:46:17	端的に言いますと、このマトリックスについて、
0:46:27	今考えている、五つの試設計分類への探査を確認するためにもですね、頭を整理し直すと、整理し直すにあたっては、
0:46:37	この左側の列に、設計で考慮しておくべき事項、ちょっとこれはどうかってのは、我々考えないといけないんですけども、助成を書くのと、あとどのような説明単位になるのかっていったところの、
0:46:50	整理を行うということと、
0:46:53	資料 2 に関係する作業としまして、
0:47:03	違う設計分類としても、共通する考え方というものがどうなるかっていったところについて表にまとめると言っ、どのような形の町関係になっていくかといったところを、
0:47:17	見て、議論できる形にしていくものという理解をしております。
0:47:22	ちょっと簡単ですけど、それを木曜日に衛藤出しさしていただく形で授業進めていくという理解をしております。
0:47:31	認識合ってますでしょうかちょっと細かくはあるかもしれませんが、いかがですか。
0:47:35	季節
0:47:36	です。いいと思うんですけど、1 点追加するとその木曜日資料提示だ形。
0:47:43	ては木曜日じゃなくてもいいけどそれを踏まえてヒアリングの時でもいいんですけど、
0:47:47	その先の、

0:47:50	共通 12 としての作業見込みとか状況とかっていうのもお話いただきたくて、この表をつくれれば資料 2 としてのイメージはわいてきて、
0:48:02	ているはずで、代表性の書き方もこういうふうに変えていけばこうと、入れ込めるかなあというところもイメージしながら、ヒアリング、議論できると思っているの、
0:48:15	そうするとその等対応して資料 1 の作りこみ資料 3 の作りこみと、
0:48:22	いうことになるんで素行の作業イメージも作っておいていつぐらいにどうしますっていえるようにはしておいていただきたいなと思います。
0:48:33	日本原燃石黒です。かしこまりました。それを、次回の
0:48:39	ヒアリングの資料とセットで出していくものという理解をしました。以上です。昨日別に資料としてどこじゃなくて説明するような形にしていれば、
0:48:50	結構です。説明できるように、現場の準備状況とか作業状況というのをしっかりと把握をして、計画をつくれるようにしてください。
0:49:03	日本原燃の仕事です。そうしました。
0:49:11	越後ヤマグチです。全体を通して規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:49:18	今日原燃側も特によろしいでしょうか。
0:49:23	日本原燃体育館側特に問題大丈夫です。
0:49:27	はい。それではこれで本日のヒアリングを終了しますので録音です。